



## うおのめはどうして足の裏にできるの

### 足が重い体重をささえているから

うおのめは、皮ふの表面の角質が、かたく厚くなったものです。ふつう、足の裏にできるうおのめは、大人の人が、一日中、皮ぐつや、かかとの高いくつをはいている生活を、長く続けているときにできます。

重い体重をささえている足の裏と、かたいくつとがぶつかり、皮ふのせまい範囲に、長い間にわたって、圧ぱくがくり返されると、皮ふの表面の角質が、次第に厚くなり、かたくなってうおのめになるのです。

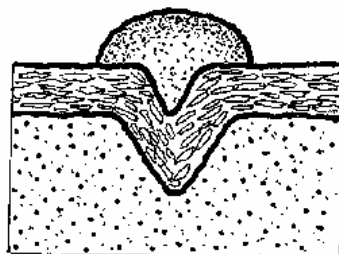
うおのめができる原因としては、足の形に合わないくつが最も多く、特に、先の細いかかとの高いくつがよくありません。先の細いくつでは、横から圧ぱくされるので、足の指の間あいだにうおのめができます。

子どもの場合、体重も少なく、かたい皮ぐつを、あまり長い間はき続けないため、うおのめになることは少ないようです。

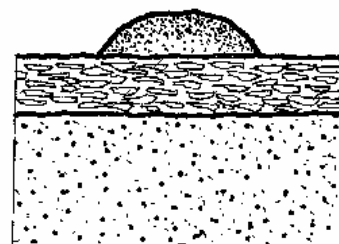
### うおのめと、たこのちがいは

たこも、うおのめと同じように、皮ふの表面の角質が、かたく厚くなったものです。

そのちがいは、うおのめの場合には、角質のしんがあり、角質のしんが皮ふの中にくいこんでいますが、たこは、角質のしんがなく、角質が平らな板のようになっていることです。（監修・保志 宏）



うおのめ



たこ

